

農地で新型太陽光発電 姫路市と共同研究事業

追尾型太陽光発電システムで営農と売電を可能にする共同研究を平成 25 年度から開始

フジプリアム株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：松本倫長）は、姫路市と共同で市内の農地に自社開発・自社製造の追尾型太陽光発電（トラッキング）システムを設置、稲作をしながら発電し、営農と売電が両立する新しい農業経営モデルの研究事業を、平成 25 年度から開始する予定です。このたび、その予算案が姫路市から発表されました。

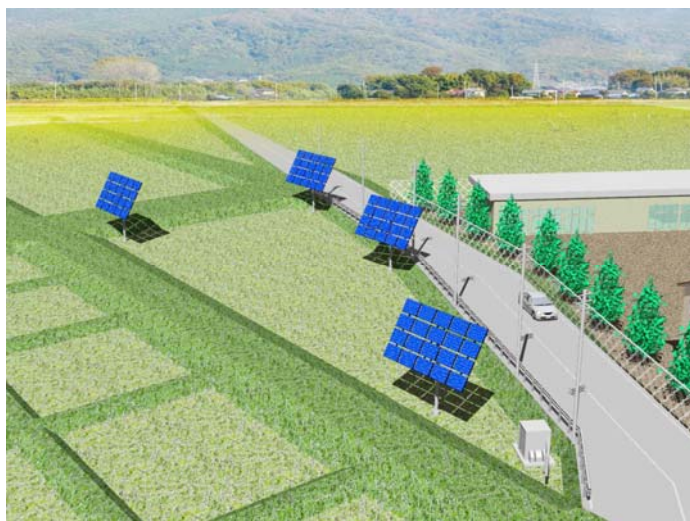
当社は太陽電池モジュールメーカーとして、13 年以上にわたって開発・製造・販売を行ってまいりましたが、さらにメカトロニクス技術を応用することにより、追尾型太陽光発電（トラッキング）システムを開発いたしました。

このシステムは、支柱上の太陽光発電パネルが自動で太陽の方角を追尾し発電効果を高めるもので、同容量の固定型システムと比べ、積算発電量が約 1.4～1.5 倍、設置に要する土地面積が約 1/20 という特長があります。（当社比）

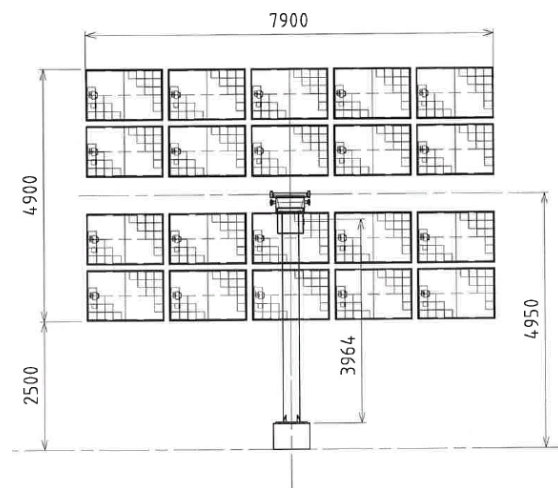
このシステムのメリットを活かし、姫路市との共同研究事業として、市所有の農地にこのトラッキングシステムを設置し、実際に水稻などの耕作をしながら発電システムを稼働させ、営農しながら売電できる、『農業収入』＋『売電収入』の両立が可能な新しい農業経営モデルの検証を行います。

これまで他にも農地に太陽光発電システムを設置した事例はありましたが、いずれも発電設備直下では、農作物への影の影響が大きく、良好な発電と良好な耕作を両立させることは困難でありました。

しかし、今回のシステムは、農地より相当高い空間で太陽を追尾する稼働方式であるため、設備下の農地で影の影響を受ける面積と時間が小さくなります。そのため、農作物の収穫量や農作業の作業性をほとんど落とすことなく農業を継続でき、農地からの新たな安定した売電収入の確保が可能となります。これによって、農業生産者の経営基盤を強化し、これからの日本の農業の維持・発展に寄与できるものと確信しております。



<設置完成イメージ図>



<トラッキングシステム>

■事業概要	実施主体	姫路市とフジプレアム（株）の共同研究
	設置場所	姫路市香寺町 所有者：姫路市 地目：田 面積：1,199 m ²
	設置内容	追尾型太陽光発電システム（4900mm×7900mm）×4基 システム出力：4.4 kW×4基
	発電量	年間 約25 Mwh（4基計見込み）
	研究期間	3年

■フジプレアム株式会社について

フジプレアム株式会社は、独自の精密貼合技術を基本とした研究開発型企业です。創立は1982年、兵庫県姫路市に拠点を置いております。現在の主力事業であるフラットパネルディスプレイの光学フィルターでは、世界トップレベルのシェアを誇っております。また、超精密貼合技術を活かした次世代ディスプレイの基幹部材や大きな市場が期待されるタッチパネルの生産も行っております。

2000年からは太陽電池モジュールの生産を開始し、クリーン・エコエネルギー事業にも注力。産業用から一般住宅用まで幅広いモジュールの提供を行っており、昨年には超軽量太陽電池モジュールを発売するなど、他社にはない独自技術を活かしたメーカーとして期待されております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

フジプレアム株式会社 IR・広報部

[TEL:079-266-6161](tel:079-266-6161)